

# 成人の風しん予防接種費用の一部を助成します

妊婦と生まれてくる赤ちゃんの健康を守るため、感染予防に有効とされる「麻疹風しん混合予防接種」および「風しん単独予防接種」費用の一部助成を行います。

昨年夏ごろから首都圏の20代から40代を中心に風しんが全国的に広がり、今後感染が拡大することが危惧されます。

特に、免疫を持たない女性が妊娠中に感染すると、赤ちゃんが白内障、心疾患、難聴などの「先天性風しん症候群」にかかる可能性が高いと言われています。

## ●予防接種について効果とリスクを考慮してください

予防接種は多くの方々に重症化予防というメリットをもたらしますが、接種後、腫れたり、熱が出るなどの症状が出ることもあり、まれではありますが、重篤な症状を引き起こす可能性もあります。この点をご理解のうえで、接種を受けますようお願いいたします。



## ●助成対象について

本市に住民登録がある19歳以上（平成7年4月1日生まれ以前）で、次の項目に該当する方

- ① 妊娠を希望している女性
- ② 妊娠している女性の夫（婚姻関係は問いません）

※妊娠中の女性および風しんにかかったことが明らかでない方、風しん抗体価が十分であると確認できた方は助成の対象になりません。

## ●接種料金について

自己負担額2,000円（一人1回限り）  
※生活保護世帯の方は全額助成となります。



## —接種までのながれ—

### 「申請」

次の窓口で接種券の交付を受ける

- ・保健センター  
（月～金曜日 8:45～17:30）
- ・ふうれん健康センター  
（月曜日 9:00～12:00）

### 「予約」

接種を希望する医療機関に予約する

### 「接種」

医療機関で「接種券」を提示し、自己負担の2,000円を支払い接種する



## ●申請時に必要なもの

- ① 妊娠を希望している女性  
↓健康保険証などの住所、年齢が確認できるもの、印鑑
- ② 妊娠している女性の夫  
↓健康保険証などの住所、年齢が確認できるもの、印鑑、妊婦の方の母子健康手帳

※代理の方が申請する場合は、前記のほかに、代理の方の健康保険証などと印鑑が必要です。

※生活保護世帯の方は「生活保護受給証明書」が必要です。  
証明書の発行については市役所社会福祉課係 ☎01654③2111（内線3213・3224）までお問い合わせください。

## ●助成期間

7月1日～平成26年3月31日

## ●女性の方へ【注意事項】

- ① 予防接種前1カ月および接種後2カ月は妊娠を避けることが必要です。
- ② 妊娠している方、またはその可能性がある方は予防接種を受けることができません。

●接種医療機関のご案内  
次の医療機関に限り助成の対象となります。

医療機関	住所	医療機関	住所
名寄市立総合病院	西7南8	片平外科・脳神経外科	大通南3
風連国民健康保険診療所	風連町本町76-1	名寄中央整形外科	西2南6
名寄東病院	東6南5	あかいし内科医院	西4北2
名寄三愛病院	西1北5	あベクリニック	西1南6
吉田病院	西3南6		

※各医療機関は**完全予約制**です。

●成人の風しんワクチンが不足しています

成人の風しんの流行が続いていることや、成人の風しん予防接種費用を助成する自治体が増えてきていることから、風しん単独ワクチンは販売業者の在庫がなく、麻しん風しん混合ワクチンも在庫不足が懸念されている状況です。そのため、医療機関でワクチンを確保することができず、接種が遅れる場合もありますので、ご了承ください。



風しん予防接種Q&A

Q:「風しん」とは…? :

A: 発熱、発しん、リンパ節の腫れなどが特徴の病気で「3日ばしか」とも呼ばれています。病原体は風しんウイルスで、主に患者から排泄されるウイルスが口から出るつばなどのしぶき（飛沫といえます）を介して広がります。症状は、感染後2〜3週間(平均16〜18日)経つてから、前記症状が出現します。発熱は患者全体の約半分にみられる程度です。特效薬はな

く、症状を抑えるための治療が中心となります。

◆風しんを疑うような発熱、発しん、リンパ節の腫れなどの症状がありましたら、無理せず早めに受診してください。



Q:なぜ20代〜40代を中心に流行しているのですか…? :

A: 全国で過去最悪のペースで風しんが広がっています。その90%近くは成人で、男性では20代〜40代、女性では20代の方が多くなっています。

昭和54年4月2日〜平成7年4月1日生まれの方は、男性・女性を問わずに予防接種率が低く、また、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種がなかったことから、風しんの抗体を持たない方が多いためと言われています。

Q:過去に風しんにかかったことがあるのですが、予防接種を受けるべきでしょうか…? :

A: 今まで風しんにかかったことが明らかでない場合は、免疫を持っていると考えられるため、予

防接種を受ける必要はありません。しかし、かかったかどうか明らかでない場合は、かかりつけの医師にご相談ください。たとえかかったことがある方がワクチンを接種しても副反応は強くなりません。

お子さまは定期予防接種を受けましたか?

麻しん・風しんの予防接種は、法律に基づき公費負担(無料)で受けることができます。

次の方は、早めに受けましょう。

○対象

第1期…生後12カ月から24カ月

未満まで

第2期…小学校就学前1年間

●問い合わせ

保健センター(西2北5)

☎01654②1486

※詳しくは市ホームページをご覧ください。

トップページ↓健康・福祉・医療・安全↓健康づくり↓お知らせ